

### (3) コーパスを活用したテキスト校訂・解釈の研究

川崎医療福祉大学 医療福祉学部 医療福祉学科 橋本美香

タイトルにある「コーパス」とは言語データを大量に収集して電子化し、ことばの研究に役立つように検索用の情報を加えたものです。本研究では、『西行物語』の諸本をもとにしたコーパスの構築をめざし、語の見出しや品詞、語種といった形態論情報や、地の文・和歌といった本文種別の情報の付与を行っています。

コーパスを構築している『西行物語』は、平安末期の歌僧であり、北面の武士を辞して出家した西行法師の生涯を、鎌倉時代以降に多くの歌を交えて書かれた作者未詳の物語です。異なったテキストが多数存在し、それらの異同について一覧性を確保し、テキストの校訂や、解釈に活用することを目指しています。

現在、翻刻、本文整形（濁点、句読点の付与など）、形態素解析、形態素情報（単語区切り、品詞など）の修正の順に各テキストについて行っています。なお、解析結果をもとに構文解析や意味解析、キーワードの自動抽出などを行うことができますようになります。